

会 議 名	第 2 回港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和 6 年 3 月 12 日（火曜日）午前 9 時 00 分から午前 9 時 45 分まで
開催方法	Microsoft Teams 会議
委 員	〈出席者〉 5 名 上村委員長、宮内副委員長、荒川委員、中村(美生)委員、中村(ゆかり)委員 〈欠席者〉 なし
事 務 局	産業振興課 観光政策担当係長 産業振興課 観光政策担当
会議次第	1 開会 2 第 1 回選考委員会議事録概要について 3 第一次選考結果について 4 第二次選考について 5 閉会
配付資料	（配布資料） 資料 1 第 1 回港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者選考委員会議事録概要 資料 2 港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者選考一次審査集計結果 資料 3 第 3 回選考委員会スケジュール（案） 資料 4 二次審査留意事項（案） 資料 5 第二次審査採点基準表（案） 参考資料 1 港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者募集要項 参考資料 2 港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者選考基準 参考資料 3 仕様書（案） 参考資料 4 一次審査の講評欄にて希望された質問内容（B 事業者）
会議の結果及び主要な発言	
	【1 開会】 （事務局より開会の挨拶） （事務局より配布資料の確認） 【2 第 1 回選考委員会議事録概要について】 （事務局より資料 1 について説明）

委員長	説明は終わりました。ご意見、ご質問等がありますか。 （委員一同、異議なし） では、第1回選考委員会の議事録概要については、このとおりとします。 【3 第一次選考結果について】 （事務局より資料2について説明）
委員長	説明は終わりました。それでは審査に当たり、評価したポイントなど、各委員から順番に講評をお願いしたいと思います。 まずA委員からお願いします。
A委員	A事業者は、様式6のところで実施体制や個人情報に対する補足資料が多く、リスクの洗い出しが出来ていると感じたため、かなり充実した内容だと思いました。基本姿勢について、港区観光振興プランの内容に合わせてイラストの記載があり、具体的にどのようなスタンスで臨むのかというところが分かりやすく表れていたのも、評価しています。また、グローバルリソースについての記載で、港区の大使館と連携したいというご提案はとても良かったと思います。 一方で、デジタルの活用としては、オンライン上のレポートの提出というご提案のみでした。そのため、インターネット環境が無い方にはどのように対応するのかという記載がないところが気になりました。さらに、オーガナイザーとして観光大使について記載していた点に関しては、具体的な目的が明確ではないと思いました。様式9（4）の創意工夫に関してですが、質問に対しての回答がずれているところが見受けられました。 B事業者は、基本姿勢について、現役ボランティアガイドとの交流というところは良かったと思います。地域関係者との交流によるネットワークづくりというところにも触れておりましたので、そういったところは評価を高くしています。また、様式8の全体構成については、港区にゆかりのある歴史上の人物についての記載もあり、区の施策とも一致する部分であるため評価を高くしました。 一方で、実施体制や危機管理体制に関して、こちらが求める個人情報の対応やバックアップ体制に関しての記載が見当たりませんでした。また、デジタル化については、電子メールについての記載のみであったので寂しい印象を受けました。さらに、スキルアップ講座については、参加者が飽きたりしないような工夫があっても良いと思いました。

	が、全体として一定の評価をしても良い事業者ではないかと思います。 最後に、A・B事業者ともに、前半は講義形式、後半はフィールドワークとなっているのは普通の内容であると思いました。以上です。 B委員 A事業者は、実施体制やスケジュール感の安定感がかなりあったため、確実にこの事業をやり切れると思いました。企画提案の内容も妥当で、インバウンドを見据えて国際化や多様性の社会の実現がプログラムの中に入っていたことが評価できると思います。 一方で、過去5年間の実績を見てみると、スマホの使い方教室などデジタルスキルに関する実績がある割に、今回の提案にはデジタルスキル習得に繋がるところが薄かったので、若干低めの評価をしています。こちらの事業者が二次審査に挙がってくる場合にはそのあたりの確認をしたいと思います。 B事業者は、こちらは過去の実績として観光ボランティアガイド養成講座などを行っていて経験値がありますので事業実施に関しては問題ないと思います。企画提案に関しては多言語・多文化理解の観光サービス提供の必要性や、高齢者、障害者を含む観光サービスを提供することを視野に入れていました。実際のプログラムの中で、バリアフリー対応や外国人への対応を学ぶことができる構成になっているのでこの点は高く評価をしております。 一方でA事業者と同じですが、デジタル対応スキルの習得への支援についてほとんど記載がないと感じたので低めの評価をしています。 C委員 A事業者は、観光に関する事業経験がありませんが、デジタルに関するスキルアップに関しては経験があって、色々取り入れていきたいという提案が前回の委員会の際にあったので、そこに関してはすごく手厚くやってもらえると思っておりましたので、かなり高い点数をつけております。危機管理体制については、人を配置する点は良かったのですが、配置するスタッフの方がどのような方なのか、二次審査で挙がってきた際には聞きたいと思います。 また、個人情報については内部でかなりしっかりと管理されているため、そのあたりは安心できると思います。また、資料の作成が上手い事業者だと感じたので、講座の資料も受講生を飽きさせないように作成できるのではないかと思います。一方的な講座ではなく、意見を聞きながら楽しくできる講座になるのではないかと感じたので、期待感をこめて点数を付けています。独自性については、分かりづらい部分もあったので、二次審査の際に質問したいと思います。
--	--

	B事業者は、スキルアップ講座の実施時期に幅があり、単発講座なので、受講者が出席しやすいような時期が設定されていると思いました。危機管理体制のフローがあり、区への報告が最後の方になっていたので、早めに報告が欲しいと感じました。基本姿勢などが、自分の言葉で記載されており、ガイドが担う役割である人とのコミュニケーションや安心感を提供するという旨の記載があったので、ただ単に観光のことを話すのみではなく、それ以上にガイドさんへの好印象へ繋げることに目をつけていたので、そのあたりは高得点を付けました。デジタルに関しては、ほとんど記載が無かったので厳しめの評価としています。以上です。
D委員	A事業者は、デジタル対応についてはスマホ講座などの実績があるため、講義環境やレポート提出など具体的な提案があり、評価いたしました。ただ、オンライン受講のみとなると後半のグループワークでメンバー同士の信頼関係を十分に築けるのかというところが疑問に思いました。また、オーガナイザーとして港区観光大使を置くというような提案についてどのような役割を期待してどうするのかということ詳しく聞いてみたいと思いました。また、見積書内の、団体料金や通常料金について予算の積み上げをどのように考えていらっしゃるのか聞いてみたいです。全体的に、企画の独自性については受講者に伝えていただければ悪くないと思いますが、実現性や具体性について疑問が残りました。さらに、資料内の記載に誤字があったため、少し残念に思いました。 B事業者は、実績を見たところ港区の特性、課題ボランティアガイドの担う役割についてよく理解されていると思いました。参集型が基本で今までの実績を踏まえていると感じました。ただ、区が求めるデジタル対応について、苦手な受講生に合わせて最小限にするという記載が後ろ向きであると感じたため、厳しめの評価をつけさせていただきました。運営は、安定的ですが独自性については二次審査であがってきたら、具体的な提案を聞いてみたいと思います。スキルアップ講座でまち歩きやスリバチ学会の講師を呼ぶというのはどのようなスキルアップに繋がるのか、今後の港区の観光の方でどのようなスキルアップが考えられるかということをつっ込んで聞いてみたいと思いました。
E委員	A事業者は、スケジュール管理がしっかりして実現性があるように見えました。また、実績や企画内容で、デジタル対応についての比重が大きいと感じました。その他の事業では独創性のある部分もあったの

	ですが、全体的にガイドの育成という視点では疑問が残る提案であったのではないかと感じました。 B事業者は、独創性や目新しい企画は無かったのですが、安定して目標を達成するという計画になっていると感じ、評価しています。デジタル対応への支援に関しては、A事業者と比較すると内容が弱いように感じましたが、全体的にはB事業者の方が高い点数になっています。
委員長	それでは、各委員からの講評を踏まえ、審査に当たっての意見交換をしていただければと思います。 ご意見のある方、挙手をお願いいたします。
B委員	事務局に確認です。委員間の採点の開きがある部分については調整した方が良いでしょうか。
事務局	資料2「港区観光ボランティアガイド育成支援業務委託事業候補者選考一次審査集計結果」2 企画提案の評価の(3)全体構成イの項目ですが、委員の評価として2段階の差が開いている部分になります。そのほかの部分は1段階の差であるので、問題ないかと思います。点差の開きも含め委員の皆さんに意見交換をしていただければと思います。
B委員	2 企画提案の評価の(3)全体構成イの項目について、記述が薄いと感じたので、8点を付けておりましたが、皆さんの意見を踏まえ12점에修正します。
E委員	確認ですが、見積りの事務局採点でB事業者がかなり低くなっているのですが、予算的には収まっているということでしょうか。
事務局	はい。大丈夫です。
委員長	他に何かございますでしょうか。
D委員	参考資料2の選考基準で、一次審査通過の最低ラインは60%以上とあったと思います。点数を集計した上で、6割に満たない場合は通過しないという認識でよろしいでしょうか。

事務局	D委員のおっしゃるとおり、満点の6割を満たせば通過となります。A・B事業者ともに合計点は加点前の満点1,000点に対しては6割を満たしていませんが、B事業者は加点を考慮することにより600点を超えることから、合格ライン相当として取り扱い、一方でA事業者は加点を考慮しても600点に満たないことから、B事業者のみ通過とし、プレゼンテーションに進むこととさせていただきたいと考えております。プロポーザルガイドライン上は、「得点率を算出する際の「満点」の考え方については、地域貢献活動項目の加点を除いた部分とします。」という表記があり、あくまでも加点を除いた点数（今回の場合は1000点）が「満点」として計算されていれば、加点が加わった得点率で6割を超えれば通過として取り扱っても問題ないと判断しています。
委員長	よろしいでしょうか。その他に採点の変更はございますでしょうか。 （委員一同、異議なし） それでは、事務局の方で採点の再集計をします。 ～事務局再集計～
事務局	再集計した採点表を画面共有しております。ご確認くださいませでしょうか。A事業者については、委員Ⅲの2 企画提案の評価の（3）全体構成イの点数を8点から12点に修正し、加点15点を含めて合計575点になりましたが、6割に満たないという状況になっております。 B事業者については、特にご意見ございませんでしたので、626点です。以上が最終的な点数です。
委員長	一次審査の評価点数については、この点数で決定してよろしいでしょうか。 （委員一同、異議なし） 集計の結果、一次審査の順位は 1位 B事業者、2位 A事業者となりました。 一次審査通過事業者ですが、選考基準では「3者程度」としています。また、第一次審査及び第二次審査のそれぞれの満点の60%を基準点として設定しています。 今の一次審査の結果を踏まえると、A・B事業者ともに合計点は加点前の満点1,000点に対しては6割を満たしていないものの、1位のB事業者は加点を考慮することにより600点を超えることから、合格ライン相当として取り扱い、2位のA事業者は加点を考慮しても600点に満たないことから、1位のB事業者のみ一次選考通過となります。

委員長	プロポーザルガイドライン上、「得点率を算出する際の「満点」の考え方については、 地域貢献活動項目の加点を除いた部分とします。」という表記があり、あくまでも加点を除いた点数が「満点」として計算されていれば、加点が加わった得点率で6割を超えれば通過として取り扱っても問題ないと判断したことによるものです。このことについて、ご意見はございますか。 (委員一同、異議なし) それでは、二次選考に進むのはB事業者の1者とします。 【4 第二次選考について】 (事務局 資料3～資料5について説明) 説明は終わりました。まず、「資料5 第二次審査採点基準表(案)」について、ご意見ををお願いします。 (委員一同、異議なし) では、資料5の第二次審査採点基準表に関してはこのとおりとします。 続いて「資料3 第3回選考委員会進行スケジュール(案)」の、プレゼンテーションと質疑応答の時間について、また、質疑応答の際に、事業者への想定質問事項を設けるかどうかについて検討したいと思います。ご意見ををお願いします。 (委員一同、異議なし) それでは、第二次審査のプレゼンテーションの時間は15分、質疑応答の時間は15分、事前の想定質問は3件、質問者はC委員1問、D委員1問、その他は自由質問ということでよろしいでしょうか。 (委員一同、異議なし) 続いて、「資料4 第二次審査の実施に関する留意事項(案)」ですが、ご意見・ご質問はありますか。 (委員一同、異議なし) 【5 閉会】 (事務局より事務連絡) (委員長より閉会の挨拶)
------------	---